

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-----------------|------------|-----------|
| 事業所番号 | 1272201417 | | |
| 法人名 | フロック有限会社 | | |
| 事業所名 | グループホーム光ヶ丘の里 | | |
| 所在地 | 千葉県柏市光ヶ丘2-25-41 | | |
| 自己評価作成日 | 平成23年1月31日 | 評価結果市町村受理日 | 平成22年4月1日 |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://kaigo.chibakenshakyō.com/kaigosip/Top.do |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|-----------------|
| 評価機関名 | 株式会社 日本ビジネスシステム |
| 所在地 | 千葉県市川市富浜3-8-8 |
| 訪問調査日 | 平成23年2月18日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・常に利用者様の意思を尊重し、一人ひとりのペースに合わせて過ごせるような支援を心掛けています。 ・調理・配膳・片付け・洗濯・掃除等の家事を利用者様と一緒にを行うようにしている。 ・利用者様がいつも笑顔で安心して過ごせるようにスタッフが一緒に話をする時間を多くできるように取り組んでいる。 |
|---|

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

| |
|--|
| <p>「グループホーム光ヶ丘の里」は、全面バリアフリーで、明るく家庭的な雰囲気の施設となっている。職員は、入居者が自宅と同じ様にゆったりと暮らせる事を目標に、家族の一員として温かく見守り、その人らしい暮らしを支援している。また、柏市グループホーム連絡会主催の合同行事に参加して、外部との交流も積極的に図っている。管理者は、職員同士や職員と家族間のコミュニケーションを大切にして、意見や要望等が言い易い関係作りに努め、サービスの質の向上とその人らしい生活の支援に繋げている。</p> |
|--|

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 該当するものに 印 | 項目 | 取り組みの成果 該当するものに 印 |
|----|--|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 「家族にしかできない事、スタッフは家族の一員として“その人らしい暮らし”を見守ります」を理念として、管理者とスタッフ全員が理念の共有化を図り、実践できるよう努力し、行っている。 | 入居者が自宅と同様にゆったりと暮らせる事を目標に、職員は家族の一員として、その人らしい暮らしを支援する事を事業所独自の理念に掲げている。理念を事業所内に掲示すると共に、日々のミーティングにて確認を行い、職員全員が理念を共有して実践に取り組んでいる。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 町会行事(花見・夏祭り・餅つき等)に参加している。また、3ヶ月に一度、町会の踊りの会の方々に訪問して頂き、利用者様と一緒に踊りを楽しまれている。 | 地域住民とは日頃から挨拶を交わす関係が築かれていると共に、随時見学や相談にも対応している。地域ボランティアの受入れや、地域行事へも積極的に参加して交流を深めている。また、地域の小学生の職場体験を受入れて地域貢献にも努め、入居者との世代間交流を図っている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 町会の方々・民生委員にホームを見学したいという方がいた場合には、「気軽に来所してください。」と話して頂くようお願いしている。相談があった場合にも丁寧に対応するように心がけている。また、近隣の方がご入居されたことにより、地域の方が遊びに来て下さったり、施設内見学をされるようになった。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議では利用者様の日常生活様子やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、会議で提案された意見をできる限り取り入れていくようにしている。 | 運営推進会議は、地域包括支援センター職員・民生委員・町会長・家族・職員を構成員として、年3回開催されている。会議では、施設の活動状況の報告を行うと共に、意見や情報交換等を通じて施設理解の促進とサービスの質の向上に繋げている。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 柏市グループホーム連絡会定例会で柏市役所担当者から指導を受けたり、直接連絡を取る等している。 | 柏市グループホーム連絡会に参加して市職員とは密に情報交換を行っていると共に、市主催の講習会等にも積極的に参加し、連携を図っている。また、施設運営全般に関する相談や報告を随時行い、協力関係が築かれている。 | |

【千葉県】グループホーム 光ヶ丘の里

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 日頃より、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。また、日中の施錠はしていない。利用者様に帰宅願望があり外へ行きたいという時には、見守りや付き添うという方法で外へ出るようにしている。 | 身体拘束廃止・高齢者虐待防止等のマニュアルを整備している。職員研修を実施していると共に、随時指導を行い、職員全員が理解して正しいケアに取り組んでいる。日中は玄関の施錠はせず、入居者の自由な生活を支援している。外に出た場合には、職員が付添い適切な支援を行っている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 千葉県の高齢者権利擁護、身体拘束廃止研修を受けた管理者がおり、ミーティング時に管理者とスタッフで虐待について話し合いをしたり、虐待防止のポスターを掲示し、虐待が起きないように努めている。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 利用者様個々の必要性について、日頃からスタッフ同士やご家族と話し合い日常生活の自立支援をするように心がけている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時には説明を行い、不安や疑問点がある場合には納得して頂けるよう十分に説明を行っている。また、改定をう際にはご家族に説明する機会を設け、十分な説明を行い理解して頂けるように努めている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 意見や要望については管理者やスタッフが個々に話を聞く機会を設け、対策が必要な場合にはミーティングにて話し合いを行って、要望にはなるべく応えられるように努めている。また、柏市介護支援相談員訪問時に利用者様やご家族から寄せられた意見・要望については、その後反映させるようにしている。 | 苦情・相談窓口を設置すると共に、家族の面会時に意見や要望を直接確認している。挙げた意見や要望に対しては、会議や連絡帳にて職員全員に周知を図り、早急な対応に努めている。また、家族が意見や要望を言い易い関係作りにも努めている。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 代表者や管理者は、日頃からスタッフの意見や提案を聞き、反映させるように努めている。 | 定期的な会議にて職員との意見交換を行い、業務に反映させるよう努めている。また、管理者は職員が意見を言い易い職場環境作りに努め、日頃から意見や提案を言える関係が築かれている。 | 職員への研修計画を立てる事により、職員全員のスキルアップに役立てて頂き、より一層のサービスの質の向上に繋げて頂ける事を希望します。 |

【千葉県】グループホーム 光ヶ丘の里

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|----|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 代表者は、管理者や個々のスタッフの努力、勤務状況を把握するように努め、なおかつ各自が向上心を持って働けるように職場環境・条件の整備にも努めている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 代表者は、管理者や個々のスタッフのケアの実際と力量を把握するように努め、外部研修へ参加する機会を設けたり、内部研修を実施したりしている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 代表者は柏市グループホーム連絡会主催の研修会や交流会・見学会などに参加するように管理者やスタッフに促し、それらの活動を通じて得た意見等を活用しながら、サービスの質の向上に努めている。 | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前の面接時に、ご家族やご本人から困っている事、不安なこと、希望等を聞き、それらの内容をきちんと受けとめるように努め、信頼関係が築けるようにしている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入居前の見学時・面接時に、ご家族から困っている事、求めている事を良く聞き、ご家族のご本人に対する想いをきちんと受けとめていくように努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 管理者や担当スタッフがご本人・ご家族と相談しながら、その時一番必要としている支援がグループホーム内でのケアかどうかを検討している。他のサービスの方が良いと思われる場合には、そちらのサービス利用を勧めている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | スタッフは利用者様の性格を把握するように努め、共に語り、笑ったり、泣いたりとお互いに支えあう関係を築くようにしている。 | | |

【千葉県】グループホーム 光ヶ丘の里

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|-----|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | スタッフは、ご家族のご本人に対する想いを聞いたり、相談をうけたりしながら、必要時には共にご本人を支えていく関係づくりに努めている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご本人の希望(外出・買い物)が叶うように、ご家族と相談し、実施できるように支援している。ご家族との外出・外泊も自由にして頂いている。また、友人等へ電話をしたり、手紙を送ったりできるように支援し、友人等が気軽に面会に来られるような関係が継続できるようにしている。 | 入居者の希望により、馴染みの場所や店への買い物等の外出支援を行っている。家族との外出や外泊は自由となっており、家族との関係継続に配慮している。また、友人・知人の来訪や手紙のやり取り等も支援しており、馴染みの人との関係継続にも努めている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | スタッフ利用者様一人ひとりの性格を把握し、利用者様同士が良い関係を築けるように配慮している。また、話が弾むようにスタッフが一緒に話をしたり、買い物、ドライブに行ったりしている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービス利用終了後も相談や問い合わせがある場合には、その都度対応している。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 本人の思いや意向を把握するために、入居時にご本人やご家族から情報を得て、確認している。また、入居後もご自分の思いや意思を伝えることができる方には、スタッフと十分に話す機会を設けている。意思表示が困難な方の場合には、ご本人の立場に立ち、検討するように努めている。 | 入居時に、本人や家族から意向・生活歴・身体状況等を確認していると共に、必要に応じて医療機関や他事業所等からも情報提供を受け、より詳細な情報の把握に努めている。入居後は、日頃の生活や言葉の中から本人の意向の把握に努め、本人本位の支援が行えるように努めている。また、家族とも意向や希望が言い易い関係作りを図っている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居前にご本人・ご家族から、生活環境や今までの暮らし方について話を聞いている。入居後もご家族との話やご本人との会話から以前の暮らしぶりを把握するように努め、入居後のケアに活かすようにしている。 | | |

【千葉県】グループホーム 光ヶ丘の里

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日々、利用者様の心身状態の把握に努め、一日の過ごし方に配慮している。また、持っている力を十分に引き出すように努力している。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 利用者様毎に作成した介護実践計画書のチェックを毎日行い、それをもとに毎月モニタリングを行っている。モニタリングでのスタッフの意見やアイデアを反映させながら、現状にあった介護計画の作成に努めている。また、ご家族への現状報告や話し合いを随時行い、介護計画にも反映している。 | 本人や家族の意向や希望を踏まえた上で、職員が意見を出し合い介護計画を作成している。定期的に評価や目標の達成状況を確認し、計画の見直しを行っている。また、身体状況等に変化のあった場合には必要に応じて随時見直しを行い、現状に即した介護計画の作成に努めている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫等を個別に記録し、スタッフ間で情報を共有しながら、実践に活かしている。心身状態が不安定な場合には、行動記録表を作成することもある。また介護実践計画書を毎日チェックし、介護計画書の見直しに活かしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 家族の要望に応じて、柔軟な対応をするようにしている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 町会行事に参加したり、町会の踊りの会にボランティアで3カ月に1回訪問して頂いたり、その他のボランティアの方にも来訪して頂き、楽しく暮らせるような支援に努めている。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 通院で情報が必要な場合や入院時には、医療機関との情報交換を行っている。また、往診時には立会い健康状態の把握に努めている。 | 協力病院以外にも、希望のかかりつけ医への受診が可能となっており、家族の希望に応じて通院の付添い支援を行っている。また、定期的な内科医の往診を実施し、適切な医療支援が行われている。看護師職員による適切な健康管理が行われていると共に、24時間連絡可能な協力体制も構築されている。 | |

【千葉県】グループホーム 光ヶ丘の里

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 毎週2日以上は看護師が勤務し、利用者様の日常の健康管理やスタッフとの情報の共有に努めている。また、看護師と電話での24時間オンコール体制をとっており、利用者様が体調不良の際は相談し、受診するなど適切な医療が受けられるように支援している。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 利用者様が入院した場合は、病院関係者と相談、連携を図り、早期に退院できるように努めている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居時などに、利用者様、ご家族から終末期にはどう過ごしたいかの聞き取りを行い、ホームの方針、できることとできないことの説明をしている。また、重度化した場合や終末期が訪れそうな際には、ご家族に意見を聞き、スタッフで検討会を行っている。ご家族へ当ホームですることの説明を十分に行い、方針を共有しながら、その後の支援を行うようにしている。 | 施設の方針等を明文化し、家族に説明を行うと共に、家族から希望を確認している。重度化した場合や終末期においては、家族・看護師・医師・職員で話し合い、本人や家族の意向に沿って施設として出来る限りの支援を行っている。医師とも24時間対応可能な協力体制が構築されている。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 急変時や自己発生時に備えて緊急対応マニュアルを作成し、スタッフにも配布している。定期的に応急手当や初期対応について訓練を行い、実践力を身につけている。また、事務所内にも常置している。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 消防署指導のもとに、利用者様・スタッフが定期的に避難訓練を行っている。いざという時、慌てずに避難誘導ができるように訓練をしている。また、災害時には町会の方々へ協力して頂けるようお願いしている。 | 消防署立会いのもと、年2回の消防避難訓練が実施されており、夜間想定での訓練も行われている。施設内は、通報器・スプリンクラー等が設置されている他、緊急時・災害時等のマニュアルも整備されている。また、運営推進会議を通じ、緊急・災害時の町内会との協力体制も築かれている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 利用者様に対して、個々のスタッフがプライバシーを損ねるような言葉かけや対応をしないように心がけている。 | マニュアルが整備されていると共に、職員への研修を実施している。職員は言葉使いに十分注意を払い、入居者のプライバシーと尊厳を守り適切な対応を心がけている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | スタッフは利用者様に対し、本人の思いや希望を表しやすい声かけを心がけ、できるだけ自己決定ができるように支援している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりのペースを尊重し、できるだけ利用者様の希望に沿って過ごせるように支援している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 利用者様に洋服を選んで着て頂いたり、お化粧をしたり、その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。また、定期的に訪問美容室が来て、利用者様の好きな髪形にできるよう支援している。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 献立を決める前に利用者様の好みを聞く、買い物や調理、片付け等も一緒に行うようにしている。スタッフも一緒に食事をするようにしている。また、定期的に外食へ出かけている。 | 入居者の希望や能力に応じて、調理・準備・片付け等を共同で行っている。献立は、入居者の嗜好や希望を取り入れて職員が作成し、食材の買い物は共同で行われている。また、季節に合わせた行事食・誕生会・外食会等を実施して、食の楽しみを広げている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 一人ひとりの状態や習慣に応じて、食事量・バランス・水分量が確保できるように支援している。食事量・水分量については毎回チェックを行っている。ADL低下により介助が必要な場合にも、十分な栄養摂取や水分摂取ができるように支援している。 | | |

【千葉県】グループホーム 光ヶ丘の里

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 起床時、毎食後、就寝前等、利用者様の能力に応じて、見守り、介助を行い、口腔内の清潔の保持ができるように支援している。 | | |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄チェック表へ毎回記録し、排泄パターンに変化が現れた場合には、支援を変更している。また、介助が必要であっても排泄の自立を目標に、プライバシーに配慮しつつ、トイレ誘導を行い排泄機能が低下しないよう支援している。 | 排泄チェックリストを活用し、一人ひとりの排泄パターンを把握して適切な声掛けとトイレ誘導を行い、排泄の自立に向けた支援を行っている。夜間は、必要に応じてトイレ誘導やポータブルトイレの使用等で、適切な排泄支援を行っている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 体操や散歩等の運動をする、食物繊維の多いものや牛乳・バナナ・ヨーグルトを摂る、できるだけ水分を多く摂るなどしている。それでも便秘が解消しない場合は、医師の診察を受けている。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | できるだけ一人ひとりの希望に合わせてながら、入浴を楽しめるような支援をしている。拒否があった場合には、時間をおいて声かけをしたり、翌日入浴して頂いたり個々に沿った支援をするようにしている。 | 入浴は毎日実施されており、入居者の希望や体調に応じて柔軟な対応を行っている。脱衣所にはベンチや暖房が設置され、心地よく入浴出来るよう配慮している。入浴拒否のあった場合には、無理強いせず声掛けやタイミングの工夫により、適切な対応が取られている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 一人ひとりの生活習慣やその時の希望に応じて休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。夜間眠れずに起きている方には、スタッフが穏やかに眠れるような対応をしている。また、日中昼寝を希望される方には休みたい時に休んで頂いている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬の変更がある時は連絡ノートに記入し申し送りを行い、管理を徹底するように努めている。一人ひとりの使用している薬の目的・用法・用量・副作用についてスタッフは理解するように努めている。 | | |

【千葉県】グループホーム 光ヶ丘の里

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 好きなこと、得意なことを活かして、一人ひとりに役割をもって頂くようにし、スタッフと一緒に話をしながら行うようにしている。また、外食をしたり近隣の公園へ出掛けるなど、気分転換ができるよう支援している。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 希望に沿って外出できるような配慮をしている。ご家族のご協力が得られるように働きかけ、普段は行けないような場所にも出かけられるような支援をしている。また、昨秋は動物園へ行き、動物と触れ合う機会を設けた。 | 入居者の希望や体調に応じて、散歩や買い物等の外出支援を行っている。定期的に外出会が実施され、戸外での楽しみを支援している。また、柏市グループホーム連絡会主催の合同行事へも積極的に参加し、外部との交流を通じて楽しみを共有している。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご家族よりお小遣いを預かり、利用者様から購入希望があるときは、ご家族の了承のもとにスタッフが買い物に同行し、できるかぎりご自分で支払いができるように支援している。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご家族や友人へ電話をしたり、手紙を書いたりできるように支援している。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共有の空間には、季節の花や行事の写真を飾ったり、作品を展示したりするなど居心地の良い環境づくりに努めている。換気や湿度にも気を配っている。 | 施設内はバリアフリーで、廊下やトイレ等は十分なスペースが確保されている。リビングには椅子やソファが設置され、入居者が自由にくつろげるように配慮されていると共に、行事写真や作品が掲示され明るく楽しい雰囲気作りがなされている。また、玄関外のベンチや家庭菜園等で、敷地内でも季節を感じながら外の空気が楽しめる様に工夫されている。 | |

【千葉県】グループホーム 光ヶ丘の里

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 玄関にベンチを置き、一人になれたり友人と過ごせる場所を確保している。また、庭で花や野菜づくりもできるようにしている。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室へは、使い慣れた家具や好みの品を持ち込んで頂き、本人が居心地良く過ごせるよう配慮している。 | 馴染みの物を自由に持ち込む事が可能であり、入居者が安心して生活が送れるように配慮している。希望に応じて畳や絨毯の使用も可能となっている。全居室にエアコンが設置され、適切な空調管理が行われている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | フロア・トイレ・階段・浴室等には手すりを設置し、各居室ドアにネームプレートを掛け、安全に自立した生活が送れるように配慮している。 | | |